

未来の扉を開く



学校法人 滝 学園
滝 高等 学校

〒483-8418 愛知県江南市東野町米野1番地
TEL.0587-56-2127 FAX.0587-56-1732
<https://www.taki-hj.ac.jp>



TAKI  学校法人 滝 学園
滝 高等 学校
SENIOR HIGH SCHOOL



TAKI

SENIOR HIGH SCHOOL

学校法人 滝学園

滝高等学校

CONTENTS

- 01 建学の精神
- 02 校長のあいさつ
- 03 教育目標
- 05 滝学園の学び
 - 05 教育の特色
 - 07 滝学
 - 09 新しい学力観
 - 11 グローバル人材の育成
 - 13 土曜講座
 - 15 滝教育研究所
- 17 進路指導
- 18 活躍する卒業生
- 21 学校行事
- 23 クラブ活動
- 25 施設・環境
- 26 アクセス
- 27 インフォメーション
- 29 創立100周年に向けて

未来の扉を開く。



受け継がれた建学の精神を新しい未来の礎に

滝学園は、明治から昭和にかけて実業家として成功を収めた滝信四郎が、「自分を育てくれた故郷から将来大いに活躍するであろう青少年を育てることこそ最大の恩返しである」と考え、「質実剛健」「勤勉力行」「報恩感謝」を建学の精神として設立しました。創立者のこの精神を私達は以下の教育理念と教育目標に発展継承しています。

質実剛健

「実」のある豊かな人生を結実させるためには、人格的にも知的にも中身の充実した質の高い人間性が求められる。そのためには、強く柔軟な精神力と、健康で健全な身体が必要である。

勤勉力行

高い理想に向かって、強い意志を固め、ひたむきにかつ貪欲に努力を続ける行動力のある人間が求められる。

報恩感謝

社会の発展が個人の幸福を保障し、個人の向上が社会の発展に貢献する。人間と人間とのつながりを大切に、人々のために努力する感性豊かな人間が求められる。



校長あいさつ

滝学園は、滝信四郎先生の「若者の教育を支援することで、故郷への恩返しをしたい。」という社会貢献の想いから創設されました。良き教職員、良き生徒・卒業生にも恵まれ、時代の流れの先取りを意識して進化し、100年近く伝統を築いてきております。現在、海外の日本人学校を含め広い地域からの新入生を迎え、卒業生は世界中で活躍をしています。

今後とも、高い教育水準と良好な教育環境を維持し、良き伝統を堅持しつつ、先の時代を考えた教育を模索し、将来様々な世界で活躍する生徒を社会へ送り出すことが、創設者の想いの継承であり、滝学園としての社会貢献と考えております。

将来各界で活躍するであろう、意欲のある若い皆さんの期待に応えるべく尽力してまいります。



滝高等学校

校長 高瀬 裕隆

〔教育目標〕

EDUCATIONAL GOALS

私たちは、
生徒一人ひとりと真摯に向き合い、
総合力に秀で、多様性に対する
寛容な姿勢を身につけた
魅力ある生徒の育成を目指します。

1 「知力」「体力」「教養」のバランスのとれた生徒の育成を目指す。

2 それぞれの夢の実現にふさわしい志望大学に合格するだけでなく、
その先に生きる確かな学力を身につけた生徒の育成を目指す。

3 自己の社会的責任を自覚し、周囲に対する優しさを持って、
それぞれが歩むネットワークの中で、かけがえのない役割を果たす
生徒の育成を目指す。

4 今後の高度情報化社会で自己実現を可能にする
情報技術・倫理観を獲得し、人工知能などの発達に伴い
益々重要になってくる知性・感性を持った生徒の育成を目指す。



深める教育

昨年、教育界にも教育のICT化や学びの方法等大きな変化が起きています。

その柱は「新しい学力観」と「グローバル人材の育成」です。この2本の柱は、いずれも確かな「基礎学力」に裏打ちされた「専門」の力と深い「教養」を必要としています。私たちはその2本の柱を意識しつつ、日々の授業・学校行事を展開していきます。

拡げる教育

私たちは、10数年前からT型人間、つまり「一」がジェネラリスト、「I」がスペシャリストとして2つの力をもつ生徒の育成に努めてきました。現在では、「I」を2本に増やした π 型人間、つまりスペシャリストとして1つの力だけでなく複数の力を備えた人材の育成を目指しています。（T型人間）

これからは、さらに「一」を2本に増やした“元”型人間、つまり確かな学力を持った、“元気”な生徒の育成を目指していきます。

支える教育

人間は不完全であり、弱い存在です。まして中高生はなおさらです。つまずいたり、悩んだりしたときこそ友人や教師がそばに立ち、自らの“不完全”さを自覚する力に目覚め、そこから新たにスタートできる体制（進路相談、生活相談、面談週間）を整えています。

凝縮された 学びの3年間

滝高校では、大学進学に必要な高い学力と広い視野を持つ生徒の育成に努めています。

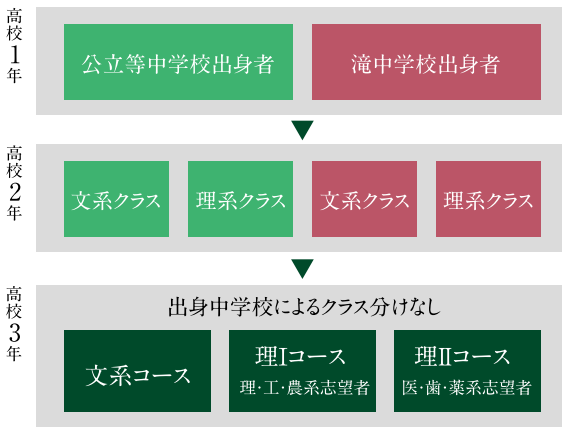
滝高校は、滝中学校からの進学者と公立中学校などからの進学者からなっています。

それぞれの特性を生かした指導を行うため、1・2年生をそれぞれ別クラスで編成し、3年生から合流するという形態をとっています。

	高校1年	高校2年	高校3年
目 標	基礎学力を固め、応用力の養成を目指す。		大学入試に向けて実践力を養う。
学習進度	英語・数学・国語については、2年生までに3年生までの教科書レベルの内容を固め、標準的な問題への対応を完成させる。		大学入試問題の演習を中心に実践力を高め、志望校別の具体的指導を行う。
クラス編成	HR、授業ともに均等クラスを編成する。	文系・理系に分かれ、それぞれでHRを編成。授業は原則としてHRで行う。	文系・理I・理IIの3コースに分かれ、授業は習熟度別クラスと選択クラスで行う。

出身別学習進度調整

滝中学校において学習内容の前倒しを行っているため、滝中学校出身者と他の公立中、私立中学校等の出身者の間で、進度の調整が必要になります。そのため1・2年生では出身別のクラス編成とし、この2年間で進度を合わせます。



入学前の3月末に、4日間の高校外進生特別授業を行い、教科書を進める授業を行います。1年生は年間9～10回程度の土曜日に行う土曜講座開講日には60分・3時間の特別授業を行っています。（2年生からは、土曜講座への参加ができます。）



学習指導

50分授業・週33時間〔週5日制〕の通常授業に加えて7月末、そして12月末に計15日間の通常授業を行うことで十分な授業時間を確保しています。こうした授業時間と質の高い教材を利用することで難関大学・学部の入試に対応できる学力を養成します。



特別ゼミ・ 入試攻略授業

高3では、夏期は休み中も特別ゼミを行っているほか、夏期・冬期を通じて入試問題の攻略方法を解説する入試攻略授業を行います。大学の過去問等を解き受験への意識を高め、攻略方法を聞いて実践しながら、同じ大学を受験する集団を意識し、ともに最後まで戦い抜く仲間意識も高めていきます。

小論文 志望理由書の指導

2度の志望理由書の添削などを活用して志望校の決定、小論文を書く力の育成をサポートします。3年生では、希望者を対象とした小論文授業を開講しています。文系・理Iコース向けの小論文授業と理IIコース向けの小論文授業を、いずれも火曜日の7限に行っています。

オープン講座

通常の授業後に、希望制で行います。内容は、特定の分野を深く掘り下げたものや、大学・学部別の傾向に合わせたものなどで、独自教材を作成したりして質の高い授業を展開しています。

〔オープン講座の例〕 ◎最難関大へ向けた数学 ◎物理重関徹底講座
◎名大合格へ向けた数学 ◎日本史論述基礎講座

土曜講座

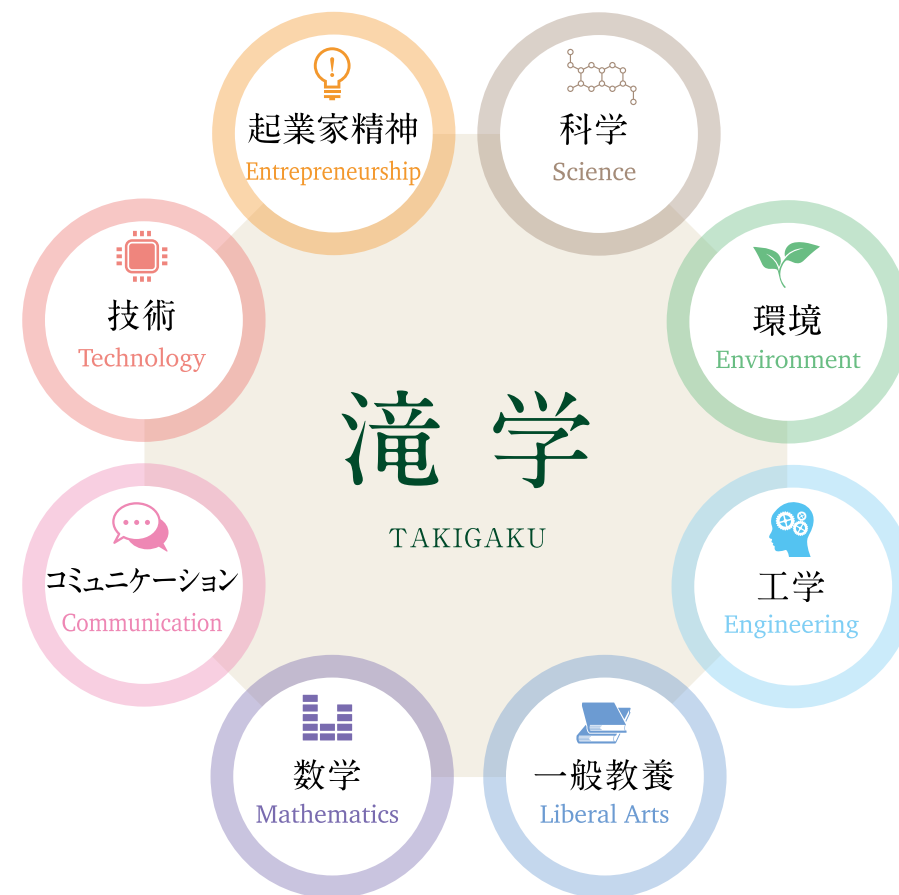
特定の土曜日に希望制で行われる土曜講座を開講しています。「学習講座」と「教養講座」からなり、「深く」「広く」学ぶ機会を提供しています。詳細はP13をご覧ください。

〔土曜講座の例〕

学習講座	◎基礎からの英文法講座 ◎入試数学に触れてみよう	◎文語文法の特訓 ◎フォローアップ物理
教養講座	◎進路をデザインする！ ◎大学式プレゼンが巧くなる極意	◎認知症になぜ国家戦略なのか ◎再生医療の最前線

生徒参加型の授業 「滝学」

生徒自らが考え、発信することに重点を置いたアクティブラーニング授業で、科学技術関連の教科から環境教育、建学の精神などさまざまな分野から独自のテーマを設定します。創立100周年を間近に控えた滝学園の新たな取り組みです。



TAKIGAKU

生徒主体の 学び

将来に役立つ さまざまな力を磨きます

「滝学」は、科学、技術、工学と数学等の教科の横断的教育（一般的にSTEM教育と呼ばれる）に加え、自分の考えを言語化する経験を与えること、起業家・実業家精神を養うこと、環境意識を高めることも目指します。生徒が自ら考え、意見をつくり、発信していくことに重点を置いた、生徒中心の参加型の形式で行います。学年や時期にふさわしい課題を扱い、適宜、学園にかかわる内容も題材としながら、滝に学ぶ生徒として大切にしたい心構えや将来に役立つ力を身につけてもらうことを目指します。

創立100周年を間近に控え、創立者滝信四郎先生の思いや、滝富夫理事長の考えや姿勢

（アントレプレナーシップ）について具体的に学ぶことを手始めとし、学年に応じて、課題発見力、考察力、表現力等を磨きながら、自己発見や自己肯定感の醸成につなげ、未来を生きる糧を与えるため、改めてまとめたものが「滝学」です。



学校法人 滝学園
副理事長

滝 祥夫
（創立者の曾孫）

新しい学力観

FOR NEW EDUCATION



21世紀に求められる力の獲得に向けた学び

新しい大学入試に向けては、文部科学省から次ページのⅠ・Ⅱ・Ⅲの観点が示されました。

この観点に基づいた教育が求められるとともに、「大学入学共通テスト」が実施されています。

滝学園では、こうした新しい動きに対する施策に、積極的に取り組んでいます。

新しい観点

Ⅰ 基礎的な知識および技能を獲得します。

滝学園の取り組み

今までの滝学園の経験を発展させ、すべての生徒に「基礎学力の今まで以上の定着」を目指します。（「鍛える教育」）英語4技能対策として、GTECや英検などの外部検定試験を積極的に利用します。

Ⅲ 「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」を育成します。

滝学園の取り組み

クラブ活動の質の向上と各種大会への挑戦を通じて、アカデミックスキルを体得するよう努めます。

Ⅱ これからの時代に社会で生きていくために必要な「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を育成します。

滝学園の取り組み

「土曜講座」というフィールドを十分に活用して教養に裏付けられた専門性を深めています。（「深める教育」）



多様な人材

滝高校の入学試験は、一般入試に加えて、帰国生入試、地域枠推薦入試の3種類があります。滝中学校からの内部進学者と併せ、多様な中学校生活を送った生徒たちが集まることで、互いに刺激し合いながら充実した高校生活を過ごします。

滝高校は、勉学だけでなく、クラブ活動や社会貢献活動、海外生活など、さまざまな才能、資質、経験を持つ多様な人材が集います。また、名古屋市をはじめ、愛知県・岐阜県の幅広い地域から生徒が通っており、日々の生活の中で互いに切磋琢磨し、国際感覚を養い、広い視野を身につけながら成長することができます。互いの個性を認め合い、支え合い、共に目標の実現を目指す仲間と過ごす時間は、卒業後の人生の大きな財産となることでしょう。



滝学園のICT活用と、その実践事例

文科省・総務省・経産省等の通達では、次世代の学校・教育現場には、

◇学びにおける時間と距離の制約を取り払う

〔遠隔・オンライン教育〕

◇個別に最適で効果的な学びや支援のプロジェクト型学習を通じて創造性を育む〔教養とSTEAM教育〕

◇校務の効率化

◇学びの知見の共有や育成

などが、ICT環境のもとで保証される必要があるとされています。

滝学園においても、これらの動きに先立ち、まずネットワークの再構築を2019年の夏に行いました。それは、文科省の「GIGAスクール構想の実現標準仕様書」をクリアしたのになっています。全教室に65インチ型モニターを常設し、「みらスク」を利用して電子掲示板、ライブ配信、PCやタブレットのミラーリングをし、生徒への視覚教材ツールとしての活用をしています。

また、生徒・教員とも日常的にiPadを利用し「ロイロノート」「Teams」「OneNote」などのアプリを利用し、生徒と先生の情報共有を行っています。

「教育のグローバル化・ボーダレス化」と「海外研修」

私たちが今日置かれている社会は「グローバル社会」というよりも「ボーダレス社会」と考えられ、日本のどこにいても海外の人との交流を求められます。この「ボーダレス社会」を生き抜く覚悟と力を育成したいと考えています。「ボーダレス社会」に対応できる人材育成の場は身近にも多くありますが、より海外の人々と触れ合う機会を求め本校独自のプログラムを提供します。



滝学園の考えるグローバル人材

社会の「グローバル化」にともない、教育の世界でも「グローバル人材の育成」ということがさかんに言われています。「グローバル人材」とは、単に「英語が話せる」「海外生活の経験がある」といった人材を意味しません。滝学園は次に示した力を備えた人をグローバル人材と位置づけ、「新しい学力観」に基づいた教育により「グローバル人材の育成」を図ります。



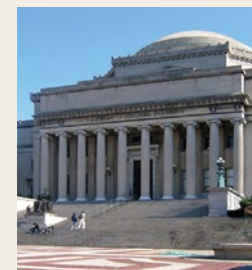
海外研修

※訪問地、人数などは変更されることがあります。

アメリカ研修(高1)

●高1: 夏休み中、原則10日間、希望者から最大40名、自己負担

世界の一流を見ることで刺激を受け、将来に対するグローバルな視点を持つきっかけにもらえるよう実施しています。ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学(MIT)の見学に始まり、講義や、現地で実際に学ぶ学生からの話を聞くことは、将来を考える上で役立つことと思います。グローバル社会で活躍するために必要と考えられている考え方や技術を身につけられるような英語研修も含んでいます。



コロンビア大学



ハーバード大学

イギリス研修(高2)

●高2: 夏休み中、原則10日間、高2生希望者から3名を選抜、自己負担金10万円の他は卒業生・同窓会から補助を受け、UCL-Japan Youth Challengeに参加

日本各地から高校生がロンドンに集まり、現地生徒・学生との意見交換を中心とした交流を行います。University College Londonの教授陣による講義、世界で活躍する日本人(本学園卒業生も含む)との対話イベント、ロンドン市内研修など有意義なイベントで盛りだくさんです。新たな視点で日本や自分自身を見直すことも期待されます。本学園の卒業生の方々から、資金面、精神面のサポートをうけて参加できる点も素晴らしいことです。



グアム修学旅行(高2)

●高2: 12月中、3泊4日

グアム修学旅行では「異文化交流」の重要性を体験し、新しい気づきや価値観への理解を深めます。そのために、現地の高校生との交流プログラムや、グアム大学生とのディスカッションを実施します。また、グアムの伝統文化であるチャモロ文化にふれる様々な体験活動も行います。さらに、グアムには過去の戦争の戦跡も数多く残されています。平和な未来を作るために何ができるかを学ぶことも、目的としています。



未来の扉を開く鍵

滝学園では、通常は授業の行われない土曜日を有効に活用し、生徒の皆さんの知的な好奇心や教養を高めるとともに、普段の授業のバックアップや応用力の育成を目指して、土曜講座を実施しています。

土曜講座記念講演会の講師

新入生、在校生、保護者の方々に土曜講座をよく知っていただく機会となるよう、毎年4月に記念講演会を開催しています。講師にはノーベル賞受賞者をはじめ、各界で活躍されている著名人をお迎えします。

〔過去「土曜講座記念講演会」の講師〕

ジェローム・フリードマン 氏	マサチューセッツ工科大学 (1990年ノーベル物理学賞受賞)	宮川 繁 氏	マサチューセッツ工科大学	梅原 猛 氏	哲学者
李 遠哲 氏	元台湾中央研究院院長 (1986年ノーベル化学賞受賞)	C.W. ニコル 氏	作家	鎌田 實 氏	諏訪中央病院名誉院長
池田 香代子 氏	翻訳家	秋山 仁 氏	数学者	大谷 貴子 氏	全国骨髄バンク推進連絡協議会会長
渡辺 興亜 氏	第29次、35次南極地域観測隊長 明治大学教授 早稲田大学教授	斎藤 孝 氏	明治大学教授	池田 清彦 氏	早稲田大学教授
森永 卓郎 氏	獨協大学教授	小柴 昌俊 氏	東京大学特別名誉教授 (2002年ノーベル物理学賞受賞)	養老 孟司 氏	東京大学名誉教授
丹羽 宇一郎 氏	日中友好協会会長・ グローバルビジネス学会会長	天野 浩 氏	名古屋大学教授 (2014年ノーベル物理学賞受賞)	前刀 禎明 氏	ディアワンダー株式会社 代表取締役CEO & CWO (滝高等学校第26回卒業生)
森島 邦博 氏	名古屋大学大学院理学研究科 准教授(素粒子物理学) (滝高等学校第47回卒業生)	岸 博幸 氏	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授	渡辺 安虎 氏	東京大学大学院経済学研究科教授 (滝高等学校第42回卒業生)
梶田 隆章 氏	東京大学卓越教授 (2015年ノーベル物理学賞受賞)	大石 静 氏	脚本家		

学習講座

「グローバル社会」で活躍するためには、その前提として基礎となる確かな学力を身につけておく必要があります。

普段の授業をしっかりと理解して、学力を高めてもらうことがまず第一に大切なことです。

土曜講座では、各生徒の弱点を補うための基礎レベルの講座や、プラスαの高度な内容を探求するハイレベルな講座などが開講されます。「学習講座」を通じて、基礎力や応用力を高めたり、大学入試への対策を行うことができます。



英語講座
「目指せ！君も仮定法マスター！」



数学講座
「最高峰への数学」



国語講座
「基礎演習古文」

教養講座

将来、社会のリーダーとして活躍するにあたり、自分が就いている仕事の分野に関する知識・専門性が求められるのは当然ですが、幅広い教養も必要とされます。幅広い教養は、世の中の動きを理解し、新たな発想を生み出し、的確な判断をするのに役立つだけでなく、人間的な魅力にも繋がります。「教養講座」で様々な世界に触れ、普段の授業だけでは得がたい経験を積んでもらいたいと考えています。本校教職員以外にも、大学の先生や様々な職業の方、卒業生を招いて開講しています。時には、在校生が講師になって講座を開くこともあります。



「難病の新しい薬開発を目指して
～薬学部教授の挑戦～」



「錬金術 銅が金に!？」



「税理士と考える皆さんの未来
～日本の財政と年金の視点から～」



「イギリス研修報告会」



「誰でも参加できる和太鼓講座」



「日常に役立つ心理学」



「進路選択に海外は？」



「哲学対話(P for C)をやってみよう!」



「クイズの講座」



「囲碁講座」



「クリスマスキャンドルアレンジ」



「ニュースポーツ アルティメット」



株式会社 滝教育研究所
〒483-8275 江南市古知野町久保見194
電話：0587-58-6310 FAX：0587-58-6311
https://www.takied.jp/

学ぶ意欲を導きクラブ活動を支える施設

創立90周年を機に、若い教職員で作り上げた100周年への道標が「滝2026年への羅針盤」です。

その中で、「学校には文科省からの『縛り』と学園自らの『縛り』の両方があり、それは学校という組織においては必要不可欠であるが、もっと自由に、後期中等教育の教育や研究をパイロット的に実践して、それを滝学園の教育にフィードバックする滝学園の付属研究機関（滝教育研究所）が必要」と謳っています。

この主旨に賛同していただいた学園関係者により「滝教育研究所」が開設されました。この研究所は滝学園の教育をさまざまな視点から評価・点検していただき、学園の教育活動の力強い協力機関となると考えています。

滝教育研究所は、学校が終わった後、「もっと教えたい先生」と「もっと教えてほしい生徒」が出会い、さらに深い教育・研究をしていくことを目的としています。

自習室、自主ゼミ室を設置し、土曜、日曜、さらに長期の休み中も開放します。このことは多くの生徒達や保護者の皆様が望まれていたことだと考えています。

また、学校休業日のクラブ活動について滝学園から業務委託を受け、学校休業日の活動を可能にしています。具体的な指導・試合参加などについては多くを滝学園のクラブ顧問の先生方にお願いしています。



研究所からのあいさつ

滝学園では2016年、90周年事業の一環として、「滝2026年への羅針盤」が策定されました。この羅針盤には、今後の滝学園の目指す教育が示されています。この羅針盤に基づき、2016年の9月に株式会社滝教育研究所を設立いたしました。

私立大学では株式会社を持ち、その中で関連事業を行っていくというケースが多くあるようです。しかし、中学校高等学校においては、このようなケースは珍しく、まさに他に先駆けた画期的なことであると思います。

講師の先生方におかれましては、授業、クラブ指導、生活指導、進学指導等々で本当に忙しい毎日であると拝察いたします。そんな忙しい中に

あって、さらに御負担をおかけしてしまうことは誠に恐縮に存じております。また、その熱意が本当に有り難く、敬意を表します。

講座・クラブ活動について滝学園の先生方のご協力に感謝し、さらなる教育活動の充実を進めていく所存です。「滝2026年への羅針盤」が実現し、滝学園が将来に向けてますます充実、成長、発展されていくことの一翼を担ってまいります。

初代 代表取締役 社長
(元滝高等学校PTA会長)

滝教育研究所

講座部門 自ら学ぶ姿勢を掘り起こして、それを持続できる環境のもとで以下の講義を提供します。

- 滝学園の生徒のみに提供される講義
- アカデミックな授業、ディスカッションが展開される講義
- 志望大学に見合った「基礎学力定着」のための講義
- セミナー室、自習室の提供

例 高校と大学の接続研究機能、成績中位下位対策研究機能、英語教育研究、自習室・自主ゼミ機能、日本文化の「伝達」講座

公開活動部門 滝学園の教育のリソースを生かした、地域への公開講座の実施

- 例① 公開活動 | 文化財ツアー、幼稚園・保育園ツアー
- 例② 公開講演 | 円周率クイズ、ピラミッド

クラブ活動部門 学校休業日などのクラブ活動の支援、コーチの採用をサポートします。

受講生の感想

ここから始める高校数学
現代文記述対策講座
古文基礎読解力向上講座 受講

学ぶ意欲の高い仲間と切磋琢磨できる環境です。また、授業では発展的な問題に多く取り組むので、実践力が身につきます。

中学3年 松岡奏磨さん



English Keys
ここから始める高校数学
現代文記述対策講座
古文基礎読解力向上講座 受講

基礎から応用まで幅広く学ぶことができます。特に、自分ではなかなかできない既習範囲の復習が、かなり役立っています。

中学3年 小谷清香さん



難関英語(トップ・ハイ)
高校数学の序章
難関大攻略
国語力向上講座 受講

少人数の授業だからこそ、学校の授業では手が届かない部分を深く学べたり、先生から自分に合った的確なアドバイスをいただけたりします。

高校1年 江口大智さん



難関英語(トップ・ハイ)
最高峰への数学 I A I B
ここから始める理系化学 受講

一時間半で復習はもちろん、授業では習わないような別の解法を学べます。さらに内容を理解することができ、自分のためになりました。

高校2年 鈴木瑠衣さん



CAREER SUPPORT

希望実現の確かなサポート

滝学園では、生徒の志望を第一に考えた進路決定を多角的にサポート。学年・担任・進路学習指導部を中心に、保護者の皆様との連携のもと、文系・理系の選択から学部・学科の選択、さらに志望大学の選定までの指導を行います。

その結果、生徒の多くが東京大学・京都大学、国公立大学の医学部医学科、さらに地元の名古屋大学など難関とされる大学・学部への進学を目指しています。

サポート体制

1 模試の分析と面談

本校では6年の間に多くの模擬試験を受けます。模試を受ける目的は、その時点での自分の学力を全国の中学生・高校生との比較で知ること、自分の弱点科目・教科・分野を知りそれを強化していくことにあります。

本校では、模試受験後の指導として、その結果や指導方針などを学年・進路学習指導部で分析・検討し、年3回の生徒との面談を行います。

3 講演会

本校では、土曜講座記念講演会をはじめ進路学習指導部が企画する進路講演会などに、大学の先生や実業界で活躍されている方など多くの著名な方をお招きしています。

これらの講演会は、生徒自身が各自の興味関心の枠を広げ、「学び方・将来の生き方」を考えることを通じて進路決定につながるものと位置付けています。

また、諸々の分野で活躍している本校のOG・OBを招いてキャリア教育にも取り組んでいます。



2 個別の大学情報

少子化の問題やグローバル化などの影響を受け、大学入試にも大きな変化が起きようとしています。

本校では、こうした状況に対応できるように的確な情報収集を常に心がけています。得られた情報は、適切な時期に適切な方法で生徒や保護者の皆様にお伝えします。

進路講演会 講師〔令和6年度〕

■ 名古屋大学 准教授	永野 拓矢 氏
■ 名古屋大学 特任教授	橘 春菜 氏
■ 白川村議会 元議長	高桑 徹司 氏
■ トヨタ自動車 水素製品開発室 主査	今西 啓之 氏
■ 名古屋市立大学 教授	高桑 修 氏

ALUMNI INTERVIEWS

活躍する卒業生

滝学園で学び、豊かな人間性を身につけた先輩たちは、さまざまなフィールドで活躍しています。自分らしい道で輝く卒業生の皆さんの声をご紹介します。



ディアワンダー株式会社

代表取締役CEO & CWO **前刀 禎明**さん

昭和52年 滝高等学校 普通科 卒業
慶應義塾大学 大学院 理工学研究科
管理工学専攻修士課程 修了
ソニー、ペイン・アンド・カンパニー、ウォルト・ディズニー、AOLなどを
経て、2004年にスティーブ・ジョブズ氏から請われ、アップル
米国本社マーケティング担当副社長 兼 日本法人代表取締役役に
就任。07年、株式会社リアルディアを設立。
23年にはディアワンダー株式会社を設立し、さらに新しい挑戦
を開始。

滝学園は環境が素晴らしく、あのキャンパスで個性豊かな先生から、たくさんの刺激を得られたのは大きかったです。当時を振り返ると、人と同じというのが嫌でしたね。「普通は」とか「常識的には」と周りから言われてきましたが、いい意味で反面教師に。型にはまることに疑問を感じていたからこそ、今の
ような自分になったと思っています。

ソニーやアップルを経て、リアルディアという会社を設立し、
五感教育プログラムを手がけてきました。さらに新会社ディア
ワンダーを設立し、情熱的に挑戦しているのは、ワクワクしながら
学べるワンダーラーニング。そこで、自分を革新するセルフイ
ノベーションを提唱しています。最近リリースしたアプリ
「DEARWONDER+」は、プレイ、クリエイト、シェアという考え
方のもと、自分を解放し、自分自身を創り、自分を超えていこう
というもの。一人ひとりが自分らしく生きられ、世の中が豊かになる
ことを目指しています。

これからの時代に必要なのは、創造的知性です。
観察力、質問力、実験力、相談力、関連付ける力が求められ、
特に関連付ける力は大切。これは基準を変えれば、答えが変わる
ということ。答えは一つではないんです。みなさんには、大人の言
うことをすべて真に受けず、本質的なところを切り取って生かして
ほしいですね。まずは、固定観念から自らを開放して。一人ひとり
軸を持ち、学び、自分を超え続けてください。
「明日の自分には、無限の可能性がある」というメッセージをお
くります。

〔 令和7年度 大学入試結果 〕

国公立大学の合格者数 (現役生のみ)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
136名	173名	176名	166名

難関大学の合格者数 ※既卒生を含みます。

東京大学	10名	京都大学	16名	名古屋大学	39名	早慶上智	76名
------	-----	------	-----	-------	-----	------	-----

国公立大学 医学部医学科・歯学部・薬学部の合格者数 ※既卒生を含みます。

74名

学部・学科	計	現 役	既 卒
医学部医学科	59	31	28
歯学部	3	1	2
薬学部	12	10	2

令和7年度入試 主な大学の合格者数

国公立大学			
大学名	計	現 役	既 卒
北海道	6	3	3
東北	2	2	0
東京	10	8	2
東京科学	1	1	0
一橋	2	1	1
岐阜	25	18	7
名古屋	39	31	8
名古屋工業	16	13	3
京都	16	13	3
大阪	4	4	0
神戸	5	5	0
名古屋市立	26	19	7
その他	73	48	25
合 計	225	166	59

■ 私立大学 (現役 + 既卒)

大学名	計
慶應義塾	28
上智	15
中央	19
東京理科	61
明治	33
早稲田	33
愛知医科	30
藤田医科	33
南山	54
同志社	56
立命館	94
関西学院	4
その他	323
合 計	783

令和4年度～令和6年度入試 主な大学の合格者数 (現役 + 既卒)

国公立大学			
大学名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北海道	8	11	12
東北	0	3	3
東京	5	8	10
東京科学	1	3	1
一橋	1	0	1
岐阜	21	30	25
名古屋	34	43	44
名古屋工業	18	18	15
京都	12	12	11
大阪	8	3	6
神戸	5	7	6
九州	3	2	1
名古屋市立	22	25	32
その他	70	65	74
合 計	208	230	241

■ 私立大学

大学名	令和4年度	令和5年度	令和6年度
慶應義塾	36	28	29
上智	19	22	13
中央	28	25	30
東京理科	60	47	42
明治	28	33	59
早稲田	40	22	28
愛知医科	37	23	7
藤田医科	32	32	23
南山	59	36	69
同志社	69	72	67
立命館	139	81	107
関西学院	9	18	18
その他	348	329	331
合 計	904	768	823

名古屋大学 工学部化学生命工学科 02

はら しんいちろう
原 慎一郎さん(左)
令和4年 滝高等学校 卒業

広島大学 医学部医学科

とやま りきや
外山 力也さん(右)
令和4年 滝高等学校 卒業

在学時のエピソードをお聞かせください。

外山さん:原君は部活のチームメイトであり3年次のクラスメイトで、切磋琢磨して受験勉強を頑張ることができました。野球部と一緒に3年間最後までやり切ったことが何よりの思い出です。

原さん:3年次に、毎日一緒にお昼ごはんを食べたのもいい思い出です。コロナで学校行事がほとんどなくなってしまっていたので、お昼の時間をとても楽しみにしていました。

当時頑張っていたことは何ですか？

外山さん:勉強と野球です。部活では、短い時間の中で集中して、考えて練習に取り組むことが大事だと思いました。

原さん:私も野球と受験勉強です。部活があってもなかなか勉強時間が取れないことがあったので、部活がない日などは時間を無駄にしないように意識していました。

滝学園で得たものは何ですか？
また、滝学園のいいところを教えてください。

外山さん:滝学園では、笑顔で元氣よく挨拶をすることや真面目に頑張ることの大切さなど、社会に出るうえで重要なことを学べました。フレンドリーで面倒見の良い先生方と、メリハリをつけて楽しんだり頑張ったりできる生徒がいるところが、滝学園の好きなおところです。

原さん:自分で計画を立てながら勉強と部活を両立できた経験は、大学生活でも役に立っていると感じます。滝学園のいいところは、頼れる先生がたくさんいて、敷地がとにかく広くて気持ちがよく、施設が充実しているところ。高いレベルで勉強も部活もできる環境があるのも魅力的です。気の合う友人とも出会えたので、滝学園に入学して良かったと思っています。

高3時のHRでの一コマ。勉強も部活も互いに切磋琢磨し合い、充実した学校生活を過ごせました。



野球部で
一緒に頑張った日々が
何よりの思い出。

滝高校は、
一丸となって勉強を
頑張れる場所。

京都大学 法学部

こが まゆ
古賀 万結さん(上)
令和5年 滝高等学校 卒業

慶応義塾大学 法学部法律学科

ふじむら ゆづは
藤村 夕鶴羽さん(下)
令和5年 滝高等学校 卒業

在学時のエピソードをお聞かせください。

古賀さん:藤村さんとは世界史の授業が一緒に仲良くなりました。いつも明るくてお茶目で優しい人だったことを覚えています。私が落ち込んでいたときに、私の似顔絵を描いた消しゴムをくれたのがすごく嬉しかったです。

藤村さん:古賀さんとは「受験勉強として仕方なく学習するよりせっかくだから知識を楽しもう!」というスタンスが共通していて、すぐに意気投合したのを覚えています。学習の中で疑問が出たら「まゆちゃん付箋」で印をつけて、そこについて2人で話すことを楽しみにしていました。

当時頑張っていたことは何ですか？

古賀さん:一番頑張っていたのは勉強です。滝高校のカリキュラムは、大学入試に必要な力をもれなくカバーしてくれるため安心でした。受験期には先生方がメンタル面でも学習面でも最後まで支えてくださったおかげで無事に乗り越えることができました。

藤村さん:クラシックバレエを続けながら、ブラスバンド部で活動していたことです。家から高校までは片道で1時間以上かかっていたので、通学時間を活用して勉強していました。

現在取り組んでいることはありますか？

古賀さん:早期卒業を目指して定期試験で好成績をとれるよう頑張っています。将来は法曹になるか、法学の研究者の道に進むかのどちらかをしたいと考えています。

藤村さん:法学部法律学科で法律の内容を細かく学んでいます。また、ヨットサークルで活動したり、受験情報雑誌のライターをしたり、オンラインで家庭教師をしたりと充実の毎日です。

滝学園のいいところを教えてください。

古賀さん:滝高校には“失敗してもいいから努力を積み重ねて勉強しよう”という雰囲気があり、地道な努力をする力が身についたと感じています。学校全体が「勉強部」のようで、みんなで一緒に頑張ることができました。滝高校は勉強を頑張りたい人にはうってつけの場所だと思います。

藤村さん:先生方との距離が近いところです。また、中学から入学しても高校から入学しても、同級生と親しくなれる環境があるのも魅力だと思います。

03

〔学校行事〕

SCHOOL LIFE

共に学び、ふれあう日々。

体育祭・文化祭・修学旅行といった学校行事を
抜きにして高校生活を語ることはいけません。
生徒会が中心となって、全力をあげて準備に取り組む
「長月祭」は、本校の一大イベントです。

年間行事

滝学園の教育の柱の一つである集団活動。
1年を通して繰り広げられる学校行事やクラブ活動をはじめ、
学校生活のさまざまな場面で人間関係の
大切さを実感できる機会を提供し続けます。



4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
入学式 始業式 宿題テスト 新入生オリエンテーション 遠足 クラブ登録 生徒会選挙 憲法講話(1年生)	第1回定期考査 避難訓練 志望理由書添削(3年生) 体育祭	コース別講演会(2年生) 文理説明会(1年生) 高3球技大会	第2回定期考査 進学説明会(3年生) 終業式 高2イギリス研修 (希望者から選抜) 高1アメリカ研修(希望者) 高3夏期大学入試攻略授業 高3夏期特別ゼミ	高3夏期大学入試攻略授業 高3夏期特別ゼミ 宿題テスト(1・2年生) 実力テスト(3年生) 始業式 PTA主催大学進学懇談会	長月祭(文化祭)	生徒会選挙 第3回定期考査 進学説明会(2年生) 高1・2球技大会	進路講演会(1年生)	第4回定期考査 進路志望大学面談(3年生) 高2修学旅行(グアム) 志望理由書添削(2年生) 終業式	始業式 校内実力テスト(1・2年生) 進学説明会(2年生) 大学出願前個人懇談会(3年生) 高3冬期大学入試攻略授業	高3冬期大学入試攻略授業 志望理由書解説講義(2年生)	卒業式 第5回定期考査 卒業生による合格報告会(2年生) 終業式



〔クラブ活動〕

CLUB ACTIVITIES

こころの力を育む時間

今後、大学それに続く社会で求められる人間像は単に知識の量を多く持っている人間ではなく、身に付けた知識を活用して自らの周りの環境を主体的に変革できる人間です。そのためには、共同意識や協働性や共感できる力が培われていなければなりません。そのような心や力の育成にクラブ活動が果たす役割は大きいものがあります。滝学園はクラブ活動を大切な教育活動と考えます。

ただ、従来ややもすると「勝利主義」になり、生徒の生活のほとんどがクラブ活動に費やされてしまうというケースもありました。私たちは、学習活動や学校行事やクラブ活動が一人の生徒の中に共存でき、その共存の割合は生徒自らが決定できることが望ましいと考えています。そのため、下校時間は年間を通じて午後5時30分としました。

また、学校休業日などの活動は年間最大60日までとしました。

クラブ活動を通じた海外交流(過去の実績)



先進技術研究部／ハワイ(2018年3月)



柔道部／ハワイ(2023年3月)

同好会



クイズ同好会



鉄道ジオラマ同好会



弦楽同好会



文芸部



囲碁部



数理研究部



ビジネス部



競技かるた部



将棋部



ダンス部



陸上部



バレーボール部 男子



バレーボール部 女子



バスケットボール部 男子



バスケットボール部 女子



ソフトテニス部 男子



ソフトテニス部 女子



サッカー部



野球部



柔道部



剣道部



卓球部



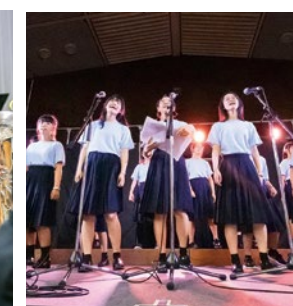
水泳部



ハンドボール部



ブラスバンド部



合唱部



ギター部



演劇部



美術部



先進技術研究部



自然科学部



天体観測部



英会話部



料理研究部



写真部



茶道部

[施設・環境] FACILITIES 充実した学校生活のために

本校は、78,000㎡（バンテリンドームのグラウンド面積の約6倍）の広大なキャンパスに充実した学習・運動施設が配置されており、豊かで伸びやかな学校生活を過ごせます。それぞれの校舎は大樹に囲まれ、冷暖房を完備しており、静かな環境の中で落ち着いた授業が繰り広げられています。

また、本館・講堂・図書館は国の登録有形文化財に指定されており、本学の長い歴史を象徴しています。



1 本館



2 講堂



3 図書館



4 中学館



5 高校館



6 100周年記念館



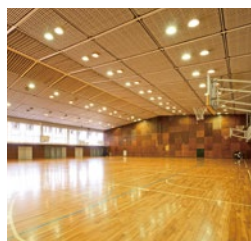
7 特別教室棟西館



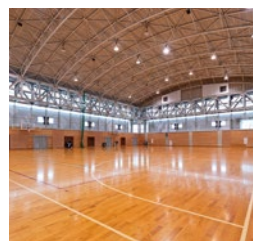
8 特別教室棟東館



9 第1グラウンド



10 第1アリーナ

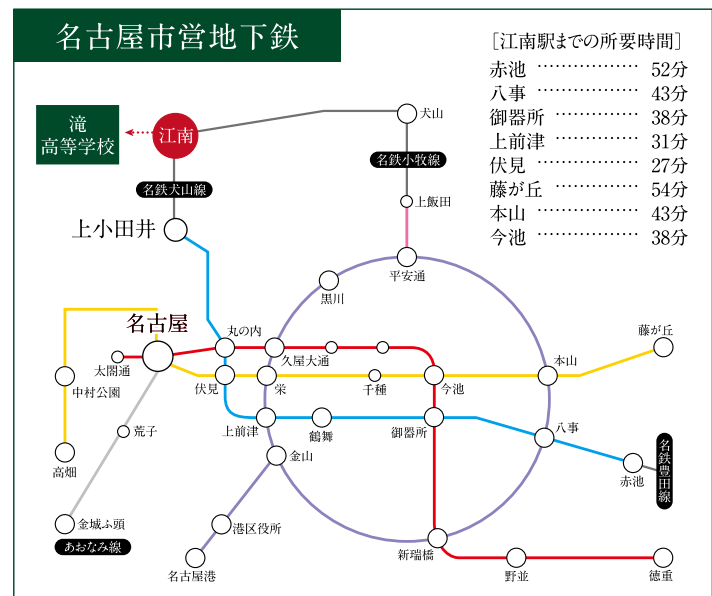
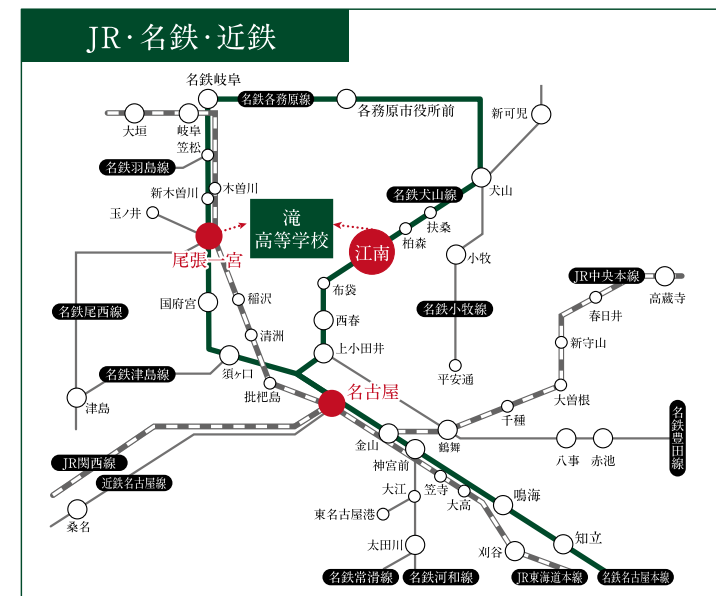


11 第2アリーナ



12 50mプール

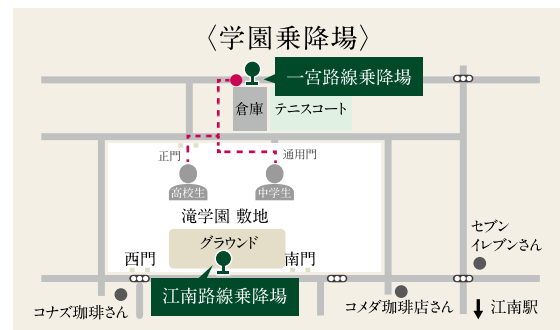
[アクセス] ACCESS 交通のご案内



スクールバス（一宮路線・江南路線）

滝学園では一宮駅と学園を結ぶ「一宮路線」と、江南駅と学園を結ぶ「江南路線」の2系統のスクールバスを運行しています。両駅と学園間を直行で運行します。運行日は授業・土曜講座・行事のある日です。

※令和7年度新入生より有料となっています。



一宮路線 名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅を利用する生徒および駅近隣の生徒はスクールバスを利用することができます。（所要時間40分） <table> <tr> <td>〔往路〕</td><td>一宮駅西口発 7時00分、10分、20分、30分、40分</td></tr> <tr> <td>〔復路〕</td><td>学園前乗車場発 授業後から下校時刻15分後まで運行</td></tr> </table>	〔往路〕	一宮駅西口発 7時00分、10分、20分、30分、40分	〔復路〕	学園前乗車場発 授業後から下校時刻15分後まで運行	〈一宮駅乗降場〉 駅から徒歩 約2分 7:00 7:10 7:20 7:30 7:40 の5本を運行 ローソンさん いちい信用金庫さん ロータリー 名鉄一宮駅 尾張一宮駅 西口 岐阜方面 名古屋方面
〔往路〕	一宮駅西口発 7時00分、10分、20分、30分、40分				
〔復路〕	学園前乗車場発 授業後から下校時刻15分後まで運行				
江南路線 名鉄江南駅を利用する新入生は、必ずスクールバスを利用して通学します。（所要時間8分） <table> <tr> <td>〔往路〕</td><td>江南駅前発 7時10分以降、随時運行</td></tr> <tr> <td>〔復路〕</td><td>学内乗降場発 授業後から下校時刻15分後まで運行</td></tr> </table>	〔往路〕	江南駅前発 7時10分以降、随時運行	〔復路〕	学内乗降場発 授業後から下校時刻15分後まで運行	〈江南駅乗降場〉 駅から徒歩 約2分 7:10～ 随時運行 ロータリー 名進研さん 江南駅 西口 犬山方面 名古屋方面
〔往路〕	江南駅前発 7時10分以降、随時運行				
〔復路〕	学内乗降場発 授業後から下校時刻15分後まで運行				

INFORMATION

学園について

最寄り駅の名鉄江南駅および名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅とは学園敷地内発着のスクールバスで結び、名古屋市をはじめ、愛知県内、岐阜県内の広い地域からのアクセスも良好です。



地域別入学者数(令和7年度) 男女共学 男子 57人(48.3%) 女子 61人(51.7%)

名古屋市 36人	豊明市 2人	常滑市 1人	可児市 2人
一宮市 5人	日進市 2人	知多郡 1人	関市 1人
春日井市 3人	長久手市 1人	みよし市 1人	多治見市 2人
犬山市 6人	尾張旭市 1人	新城市 1人	桑名市 1人
江南市 9人	津島市 1人	刈谷市 4人	関西 1人
小牧市 2人	半田市 2人	岐阜市 4人	関東 1人
丹羽郡 4人	東海市 2人	大垣市 2人	海外 4人
岩倉市 2人	大府市 2人	羽島市 1人	国私立中学校 8人
北名古屋市 1人	知多市 1人	各務原市 1人	合計 118人



[通学者の声]

大府から通っています。通学時間は片道1時間程度です。少し遠いのですが電車に乗っている間に単語帳を見たりして時間を有効活用できています。部活は野球部に所属しています。内進の人とも仲良くなれて充実した学校生活をおくれています。

安全対策

BLEND

入学時にBLEND(校務支援システム)の保護者アカウントに登録していただきます。警報発令時に緊急下校をする際にはBLENDのメッセージ機能を利用してお知らせします。PC、スマートフォン、タブレットからご利用できます。

スクールバス

登校時と下校時に、江南駅／一宮駅と本校を直通で結ぶスクールバスを運行しています。本校の敷地内から発着するため、バス待ちの時間も多くの目で守られています。

スポーツドクター等

スクールカウンセラーはもとより、スポーツドクターの定期的な検診・相談を受けることができます。

保護者の皆様との連携

すべての保護者の皆様にとって、生徒諸君がどのような学校生活を過ごしているかということは最大の関心事だと思います。本校では、生徒諸君の学校生活の様子を、いち早く、詳しく、保護者の皆様に知っていただくために、学年通信の発行をはじめ、保護者の皆様との連携に努めています。また、学級別懇談会(個人面談)、学年懇談会、進学説明会など学校と保護者の皆様との情報交換の機会を設けています。

帰国生入試について

本校では、海外での経験を持った優秀な生徒の受け入れをしています。海外での経験が本校での教育活動に生かされ、他の生徒の国際感覚の感化につながることを期待しています。

- (1) 募集人員 募集人員の2割程度(推薦入試合格者を含む)
- (2) 出願資格 平成23年4月1日以前に生まれ、勤務等により海外に在住する保護者に同伴し、次の①から③のいずれかに該当する者で、日本の義務教育期間における海外就学期間が1年以上あり本校を第一志望とし、合格した場合は本校への入学を確約できる者。
①文部科学大臣の指定を受けた海外の全日制日本人学校の中学部を卒業した者、又は、見込みの者。
②海外の学校に就学している者等で、本校において、中学卒業と同等以上の就学実績があると認められた者。(必ず事前に本校にお問い合わせください。)
③帰国後、日本国内の中学校を卒業した者、又は、卒業見込みの者。
- (3) 試験日 1月中旬
- (4) 試験科目等 学力試験 国語(50分)・数学(50分)・英語(50分) 面接

問い合わせ

TEL : 0587-56-2127
MAIL : nyuushi-h@taki-hj.ac.jp
担当／高校教頭、入試事務係

進化を続ける滝学園



TOPIC 1

生まれ変わった制服

2026年の創立100周年に向けて、2024年春、「個の尊重」をテーマにした制服が生まれました。生徒会考案のキャッチコピーは、「袖を通せ、新時代に」。ジェンダーレスが当たり前となった現在。生徒各自が自分の着たい制服を選択して着用し、生徒同士がその選択をお互いに尊重して認め合うことが本当の意味での平等である、という思いを新制服に込めました。

制服のメインカラーは、滝学園生が進む素晴らしい未来を予感させる、爽やかさと唯一無二の個性を表現した「Future Blue」。男女ともにスーツスタイルを採用し、ネクタイ・リボンの色は生徒アンケートで決定したネイビーベースとエンジベースに。スラックス・スカートから選択可能です。

ボタン

校章デザインのオリジナルボタン



ベスト・カーディガン

デザインは生徒アンケートで決定しました。



ネクタイ・リボン

ネクタイ・リボンは選択可能です。



TOPIC 2

100周年記念館を新設

登録有形文化財である講堂と対をなす形で100周年記念館が位置することにより、歴史と未来を象徴しています。1階は高校の職員室、2階は国際交流をはじめSTEAM教育など新しい教育を実践する施設として利用されます。





次の100年の、扉を開く。



本学の歩み HISTORY OF TAKI GAKUEN

1926(大正15年) 4月 滝実業学校創立(商業部・農業部)

1947(昭和22年) 4月 滝中学校併設

1948(昭和23年) 4月 滝高等学校設置

1949(昭和24年) 4月 普通科を開設し、男女共学校となる

1964(昭和39年) 4月 滝高等学校に名称変更

1967(昭和42年) 4月 畜産園芸科(農業科)募集停止

1998(平成10年) 4月 商業科募集停止

2000(平成12年) 4月 滝中学校と滝高等学校普通科のみの中高一貫校となる

ご挨拶 MESSAGE

滝学園は、地域の文化の向上に役立てることを目的に、実業学校として始まりました。時代の変化に合わせて、大学進学を見据えた教育へと変化させ、生徒が希望の進路を叶えることのできる学校へと育てることができました。学校とは学習をする場所です。知識や経験を得るところから始まるのですが、それをいかに自分のものにするかが大事です。そして、自分で考え、自分で行動することのできる人へと導くのが学校の役目。将来、一人ひとりがそれぞれの分野で自分のしたいことをできるよう、そんな意志のある人を育てていきたいと考えています。



学校法人 滝学園 理事長 滝 富夫



伝統と未来を みつめる時計台

学校法人滝学園は、2026年に創立100周年を迎えます。

